

みんなで学ぼう！

ドキュメンタリー映画

夜明け前・私宅監置と 日本の精神医療史展

わされん職員育成プロジェクト公開講座

資料代
1500円
(事前申込要)
裏面に申込書あり

申込締切
2019年3月15日

[日時] ▶▶▶ 3月23日(土) 12:00~18:00
受付12:00~

[会場] ▶▶▶ 和歌山県立情報交流センターBig-U
多目的ホール (田辺市新庄町3353-9)

映画上映13:30~14:40・講演会15:00~16:00 映画字幕つき
私宅監置と日本の精神医療史展12:00~18:00 講演会手話通訳あります

- 愛知県立大学教育福祉学部 橋本明氏講演会
- 夜明け前-呉秀三と無名の精神患者の100年の上映
- 私宅監置の実態調査に関わる写真パネルや説明展示
- 拘束具衣などの展示



お問い合わせは、わされん事務局まで

電話 073-402-1181

お申込みは
FAXかメールで

FAX 073-424-5504

MAIL wasaren@taupe.plala.or.jp

主催:きょうされん和歌山支部(略称 わされん)

ご挨拶

このたび、きょうされん和歌山支部は「私宅監置」の実態を呉秀三氏が明らかにしてから100年を記念して、本展示を企画いたしました。

精神病に有効な治療法がまだ無かった100年前、困った家族が致し方なく自宅の座敷牢に患者を閉じ込める…つまり「私宅監置」を行っていた過去が日本にはあります。

それから1世紀…大阪府寝屋川市、兵庫県三田市のように、精神障害や発達障害があるとされる人が自宅内の檻で生活し、命さえ奪われる現況が続いています。

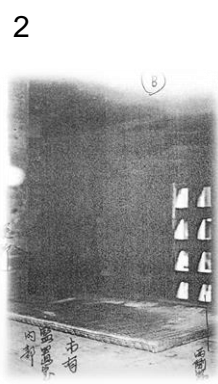
本展示会では、貴重な写真や展示とあわせて、呉秀三氏の足跡をたどるドキュメンタリー映画「夜明け前-呉秀三と無名の精神障害者の100年」を上映いたします。また、あわせて愛知県立大学教育福祉学部 橋本明氏による講演会も行います。

ぜひこの貴重な機会にご来場いただき、精神障害のある人たちの過去と今、そして未来について考えていただけたら、幸いです。

映画「夜明け前-呉秀三と無名の精神障害者の100年」 今井友樹監督 作品(66分)

今から100年前、精神科病床も少なく医療も確立されていなかった時代 座敷牢に幽閉された精神病患者を救おうと奔走した一人の医師…呉秀三のその歩みと現代に伝えなかったこと…

きょうされん(旧称:共同作業所全国連絡会)と日本精神衛生会が共同制作したドキュメンタリー映画。



写真

- 1 群馬県の私宅監置室 (1910年)
- 2 大分市市有監置室 (1940年)



4

- 写真
- 3 北関東の私宅監置室 (1955年頃)
- 4 都立松沢病院に残る拘束具



申込書

下記、必要事項をご記入のうえ**2019年3月15日(金)まで**に、わされん事務局へFAXまたはメールでお送り下さい。

お名前	事業所名または所属名